

令和7年

2月号

February

いいでの里
だより



題字:

渋木 ユキ様

令和7年度 新年のご挨拶



施設長

有田 徹

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は老健いいでの里でも新型コロナ感染が出てしまい、御利用者様、御家族様、並びに関係者様、関連病院の方々にはご迷惑をおかけいたしました。ご支援、ご協力に感謝申し上げます。新年においても引き続き安全対策を行い、今一度、基本的な感染予防・感染対策を続けて、御利用者皆様の健康・生活の向上に貢献できるように努めていこうと思っています。本年度の老健の取り組みを考えてみました。老健の原点は入所中にリハビリテーション・レクリエーションを通じて身体機能の維持、認知症の進行防止に努め在宅を目指すのですが、しかし現実が高齢化が進み寝たきり状態の方もいらっしゃいます。いわゆる特養化の状態です。どなたも生まれ育った町、長年暮らした家へ戻りたいと思っています。一時的な症状の悪化であれば、病院で医療的処置を受けて頂き、回復したらまた老健・ご自宅で過ごして頂くという事になりますが、老衰状態では、病院よりも老健の方が、安らかな尊厳ある最期を迎える事ができる場合があります。ならば、慣れ親しんだ老健が最期を迎えられるように看取りの場としてもらえるようにスタッフ一同で話し合いながら、準備をしております。また地域との結びつきが弱い様に感じ地域連携を強化し地域貢献や交流会などで地域の一員として活動を行って参ります。本来の設立時の理念を今一度想起しスタッフ一同、力を合わせて頑張りたいと思います。最後に皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

いいでの里の目的と方針

御利用者様の人格を尊重し、常に御利用者様の立場に立ち、家庭的な雰囲気の中で看護、介護及び身体機能の維持向上など自立に向けた日常生活のお世話をし、以って御利用者様及び御家族様等への支援に努めます。